

第二七八回松山市観光俳句ポスト

第278回開函

「櫛」副主宰 櫛部 天思 選

特選三句

飛び石を伝ひ庚申庵涼し

埼玉県志木市 藤田 良

産土に戻り五月の風を浴ぶ

神奈川県横浜市 星加 文江

紅椿咲かせて道後湯月町

東京都新宿区 牧田 ひとみ

入選二十句

英文の子規の俳句や五月雨るる

大阪府吹田市 秋山 祐子

髭を剃る道後の宿の若葉風

兵庫県神戸市 阿曾 宏之

木造の小さな客車春惜しむ

奈良県奈良市 梅本 幸子

一遍の刻む名号椿落つ

愛知県蒲郡市 大場 安子

薫風や統ぶる葵の鬼瓦

三重県四日市市 小原 隆

松山の若葉を浴びて傘寿かな

青森県三戸郡 木崎 了

木漏れ日を鱗となして青嵐

広島県東広島市 杉田 佳凜

遠足の兎ら賢まる天守閣

大阪府泉南郡 出口 信子

薫風に抱かれリフトの五分かな

愛媛県四国中央市 豊田 耕造

筒井門の無病息災梅雨に入る

東京都新宿区 中島 領子

唐破風の道後の宿や夕桜

東京都稲城市 萩原 一志

光跳ね夫の靴音春の山

徳島県徳島市 坂東 美智子

ひこばえに木挽の唄の流れけり

大阪府門真市 檜垣 幸重

松山は石の間に間に花筏

新潟県魚沼市 平井 貢

新緑の突き上げており松山城

大阪府枚方市 星川 淳代

(市内)

横顔は稜線に似て夏きぎす

愛媛県松山市 下岡 和也

人が来て夏蝶が来て浄瑠璃寺

愛媛県松山市 田内 聡美

語らひは花が糸口人力車

愛媛県松山市 山田 久栄

(十五歳以下)

一本じゃ福が足りない恵方巻き

愛媛県松山市 小田宮 ゆうき

葉桜や新しき靴おろす朝

愛媛県松山市 増田 樹里

(伊予灘ものがたり賞)

目に舌に薄暑の伊予灘ものがたり

神奈川県横浜市 小川 正雄

投句総数 一二六六

市外 九八七

市内 二七九

投句者総数 七七〇

市外 六一四

市内 一五六

開函日 平成二十八年五月三十一日